

再生可能エネルギーの導入を通じた 農山漁村の活性化推進事業

わが国の農林漁業においては、地球温暖化の影響による天候不順、少子高齢化による担い手の慢性的な不足、魅力ある農林漁業実現に向けた高付加価値の特産品開発など様々な経営上の課題があります。

その解決策として、作業の自動化や施設園芸による高付加価値品の通年栽培など新たな農林漁業のあり方が検討されており、新たにエネルギーの消費が発生します。

よって、地域の再生可能エネルギーを活用した農林漁業の活性化に向けた検討を支援しています。

- 活動その1. 計画策定支援（マッチング活動）
- 活動その2. 情報発信（理解醸成活動）



再生可能エネルギー・マテリアルの活用

- 業務改革・改善
- 作業の自動化
- 施設園芸による通年栽培
- 防災対策

ムリ・ムラ・ムダ無く
作業する

高付加価値品
（おいしく健康に
良いもの等）を作る

- 高付加価値品種の育成
- 適切な施肥
- 適正な防除の実施
- 資源の循環（堆肥化等）

新規就農・漁促進
離農・漁防止

担い手不足の解消
耕作放棄地の活用

高評価を得る
（お客様に喜ばれる・
よく売れる等）



①計画策定支援（マッチング活動）

- 再生可能エネルギーにより農林漁業の活性化を検討したい自治体や農林漁業者を募集（4箇所程度）し、モデル地区における地域課題を明確にします。
- 解決したい地域課題や活用したいエネルギー源を民間事業者に向けて発信します。
- その後、再生可能エネルギーを活用した地域課題の解決策を民間事業者から募集し、モデル地区とのマッチングを行い、一緒に解決策を実行する為の計画立案を行います。

①モデル地区の募集

5～7月

再生可能エネルギーの導入や利用により農林漁業の活性化を検討したい市町村や農林漁業者を募集します。
（4箇所程度）

②地域課題の明確化

7～8月

モデル地区における地域課題や、活用できるエネルギー源を明確にします。

③地域課題解決策の募集

9月～11月

解決したい地域課題や活用したいエネルギー源を民間事業者に向けて発信し、地域課題解決策を募集します。
（宮城・東京・大阪・福岡でセミナー開催予定）

④地域課題解決策の検討

12月～2月

民間事業者とモデル地区とのマッチングを行い、地域課題の解決策を実行する為の計画立案を一緒に行います。

【これまでの地域課題解決策の募集内容】

年度	対象地域	募集内容
2017	岩手県のある自治体	牛糞バイオマス施設で発生する余剰エネルギーの有効活用
	福島県のある農業団体	耕作放棄地の有効活用、エネルギー創出による新たな収入源
	福井県のある自治体	食品加工残渣を活用したメタンガス発電・熱利用
	静岡県のある自治体	地元農家が持続的に維持管理可能な小水力発電運用モデル
	和歌山県のある自治体	山椒農家における再エネ活用モデル
2018	福島県のある自治体	牛・鶏・豚の糞尿によるバイオガス発電システムの導入モデル
	福島県のある農業団体	耕作放棄地を活用した資源作物の栽培、牛糞尿バイオガス発電の余剰熱活用
	千葉県のある農業法人	豚糞尿と食品残渣などによるバイオガス発電と余剰熱活用
	福井県のある自治体	有害鳥獣焼却施設における排熱利用および地域資源の活用モデル
	兵庫県のある農業団体	肉用牛の糞尿によるバイオマス活用システム
	熊本県のある農業法人	鶏糞尿によるバイオマス発電システムの導入モデル

②情報発信（理解醸成活動）

1	先導的事例の調査 (2019年7月～9月実施予定)	電気・熱の利用や未利用資源の活用等、総合的な地域循環資源利用の取組を先進的に行っている事例を調査し、農林漁業における導入・利用のメリットや導入する上でのポイントを整理する。(6地域程度)
2	理解醸成スタディミーティング (2019年7月～12月実施予定)	地域循環資源利用の理解醸成を促す為のスタディミーティングを行う(全国10箇所)。 【開催予定】 7月：札幌市、仙台市、さいたま市、大阪市 11・12月：秋田市、福井市、津市、鳥取市、鹿児島市 11・12月：福島県、高知県(地方公共団体や農林漁業関係者のみ) 【内容(予定)】 ・国の取り組みの紹介 ・本事業や支援内容の説明 ・先進取り組み事例の紹介
3	地域課題検討ワークショップ	理解醸成スタディミーティング参画自治体を対象に、地域課題整理のためのワークショップを行う(4箇所程度)。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> 地域の目指す姿の共有 (総合計画、エネルギービジョンなど) </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> 地域のエネルギーポテンシャル (太陽光・風力・小水力・バイオマスなど) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> 解決すべき課題の洗い出し (農業、漁業、林業、主要産業など) </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> 活用可能な地域資源の洗い出し (農業残渣、未利用地、未利用熱など) </div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 再生可能エネルギー・マテリアルの活用による農山漁村の活性化 (活性化イメージ、検討課題など) </div>
4	活動報告会 (2020年3月実施予定)	本事業活動の報告会を実施し活動内容を公に広く共有する。

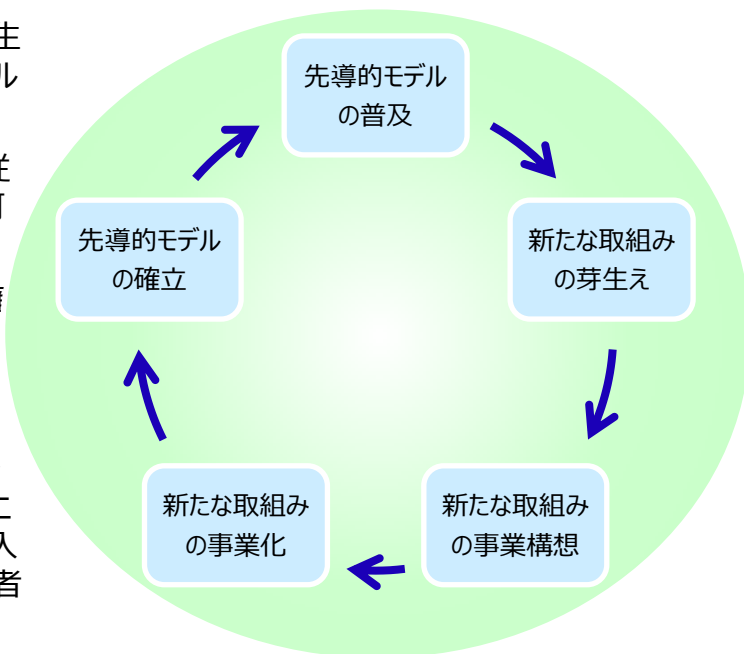
【これまでの先導的事例の視察先（理解醸成スタディミーティングでの紹介事例）】

産業 エネルギー	林業	農業	畜産業	漁業
電気	⑰うるま市 (ペレット製造)	①白山市(小水力発電) ②多気町(小水力発電) ③羽咋市(太陽光発電) ④千葉市(太陽光発電) ⑯沖縄県(バガス発電)	⑨浜中町 (太陽光発電)	⑭五島市 (洋上風力発電)
熱	⑤横須賀市(地中熱利用) ⑥久慈市(木質バイオマス熱供給)		⑩中標津町 (牛乳排熱)	
電気+熱	⑦串間市 (木質ガス化発電)		⑫垂水市 (鶏糞燃焼発電)	⑬久米島町 (温度差発電)
	⑧日田市(木質バイオマス発電)			
	⑪田原市(豚糞メタン発酵発電)			

【弊社の基本的な支援の考え方】

以下の三つの点にこだわり、農林漁業における再生可能エネルギーの導入や有効利用の先導的モデルの確立と普及を推進してまいります。

1. 電気だけではなく熱も含めて、各農林漁業従事者のエネルギーの使い方に合わせた再生可能エネルギーの活用を検討する
2. 光熱費の削減等目の前の課題と、担い手確保や生産物の高付加価値化等中長期的な課題に分け、エネルギーの有効利用を通じた課題解決を目指す
3. 再生可能エネルギー、省エネルギーや地域で効率的にエネルギーを活用するスマートコミュニティ等の基礎的な知識、検討の考え方や導入のメリット等についてより多くの農林漁業事業者への普及を推進する



【昨年度の主な活動実績】

①計画策定支援（マッチング活動）

- ◆再生可能エネルギー・マテリアルを活用した地域課題解決策の募集（第1期：2018年7月11日～8月10日）
https://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/problem_solving_jmac2018.html
- ◆再生可能エネルギー・マテリアルを活用した地域課題解決策の募集（第2期：2018年10月9日～11月27日）
https://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/energy_20181009.html

②情報発信（理解醸成活動）

- ◆農林漁業における再生可能エネルギー・マテリアル活用事例
https://www.jmac.co.jp/column/items/energy_consulting2018_jirei.pdf
- ◆農林漁業における再生可能エネルギー・マテリアルの活用方法に関する勉強会（2018年11月～12月）
https://www.jmac.co.jp/column/items/energy_study201809.pdf
- ◆活動報告会の開催（2019年3月5日、虎ノ門）
https://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/energy_study201902.html

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本能率協会コンサルティング 農エネプロジェクト 野田、江原

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル7F

TEL:080-3258-0696 FAX:03-4531-4318

E-mail: energy_jmac@jmac.co.jp

Web: http://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/energy_consulting20170831.html

※本資料は以下の利用条件を十分ご確認の上ご利用ください。

- ・本資料に関する著作権、商標権、意匠権等を含む一切の知的財産権は株式会社日本能率協会コンサルティングに帰属しています。
- ・株式会社日本能率協会コンサルティングの事前の書面による承諾を受けた場合を除き、本資料の一部又は全部を複製、転載、転用、翻案することは禁止されています。